

KAMAISHI UNOSUMAI MEMORIAL STADIUM

スタジアムのロゴ

スタジアムを囲む豊かな自然を表現。赤い丸は「新しい出発」の意を込めて海からの「日の出」を表現し、3つのウェーブは、解放された空、緑の山林、豊かな海というスタジアムの個性を表現しています。



釜石鶴住居復興スタジアム



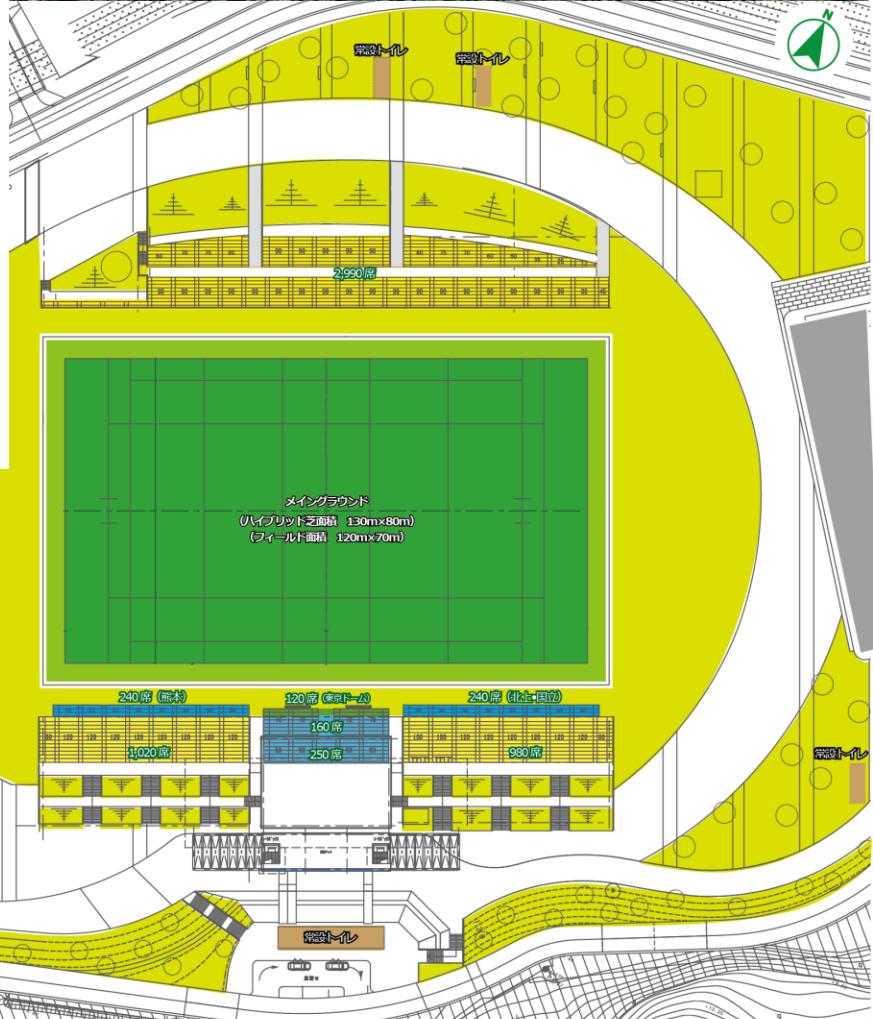


KAMAISHI UNOSUMAI MEMORIAL STADIUM



鶴住居運動公園・釜石鶴住居復興スタジアム整備概要

- ・収容人数 6,000席 (RWC2019開催時約16,000席)
- ・スタジアム整備
- ・管理事務棟：鉄骨造（建築物）地上1階建
床面積58,715m²
1F：シャワー室、更衣室、医療室
レフリールーム、トイレ
- ・やぐら棟：鉄骨造 製造面積48,640m² 3階建
- ・駐車場：東側142台、西側102台
- ・屋外トイレ：5箇所
- ・広場整備 敷地面積約90,000m²
- ・耐震性貯水槽 1基 (100t)
- ・耐震性貯留槽 1基 (120t)
- ・グラウンド整備 メイングラウンド（天然芝）
約11,000m² (約130m × 80m)
- ・サブグラウンド 約10,000m² (約120m × 78m)
- ・整備事業費 48億7,800万円
(※うちRWC2019仮設施設整備費は約9億8,700万円)
- ・竣工：2018年7月
- ・使用開始：2018年8月19日



市民の夢と希望と勇気を乗せたスタジアム

釜石市は、2019年にアジアで初開催されたラグビーワールドカップ2019™日本大会の復興のシンボルとして、そして将来を担う子どもたちに夢と希望と勇気を与えるため開催都市に立候補し、2015年3月に開催都市に選ばれました。国内12の開催都市の中で、唯一スタジアムを持たなかった当市は、東日本大震災からの復興を目指して次の考え方により、『釜石鵜住居復興スタジアム』を新たに整備しました。

- ①三陸被災地のスポーツ施設不足を解消し、県民が集い、スポーツを楽しめる。
- ②国際・国内スポーツ大会をはじめ各種多様なイベント開催ができる。(音楽・芸術・国際交流等)
- ③医療福祉目的の健康体力づくり施設として有効活用できる。
- ④震災の記憶と防災の知恵を伝える。
- ⑤ラグビー日本選手権V7・RWCレガシー(遺産)を伝える。
- ⑥釜石フィールドミュージアムを構成。(自然環境、歴史文化を野外活動として学習体験)

夢の舞台は防災を象徴する場所—釜石市立釜石東中学校（下写真左）・ 釜石市立鵜住居小学校跡地（下写真右）

～小中学校生約600人が一緒に駆けて逃げたシンボリックな場所～



2011年の東日本大震災の際、手に手をとって逃げて助かった鵜住居小・東中の児童、生徒たちを含めて、子供たちの率先避難行動は、世界中に広く紹介されました。 小中学校跡地に建設された釜石鵜住居復興スタジアムは、釜石市の防災の考え方を広く発信しながら震災の記憶と防災の知恵を伝えるものです。

スタジアムの特徴

震災からの大きな羽ばたき・新たな船出



釜石の自然空間が感じられるスタジアムへ



他地域との絆が感じられるスタジアムへ



メインスタンドの大きな屋根幕は、鳥の羽根や、船の帆をイメージして造られました。これは震災からの大きな羽ばたきや新たな船出とし、復興を目指した新たなスタートをイメージしているものです。

※屋根幕は最長部分で約67m

万一への備え



最高のグラウンドコンディションを提供



スタジアム整備に伴い、メインスタンドの最前列へ、北上市（旧国立競技場寄贈）熊本県、東京ドームから寄贈を受けた青い座席を600席設置し、「絆シート」として活用することで、多方面からの支援による感謝の気持ちを広く発信するものです。

有事の際の緊急避難場所を確保



バックスタンドの地下には、災害時に備え、耐震性貯水槽貯留槽を備えてあります。

メイングラウンドには、優れた耐久性と衝撃吸収性のほかメンテナンス性にも優れる、床土改良型のハイブリッド天然芝を採用することで、世界最高のパフォーマンスに必要なグラウンドコンディションを提供することができます。

※床土改良型ハイブリッド芝は釜石が日本初導入

西側駐車場の裏山（海拔20m）へ、津波災害時等の緊急避難場所を確保。有事の際に指定の避難場所への誘導等にあたった従事者等の緊急避難場所となるものです。

施設紹介

グラウンド

1.メイニングラウンド（ハイブリッド天然芝）

130m×80m

2.サブグラウンド（砂利） 120m×70m

スタンド

1.メインスタンド：約3,000席

2.バックスタンド：約3,000席

管理事務棟

1.管理事務室

2.大ロッカールーム：2室

3.小ロッカールーム：1室

4.医務室：1室

5.会議室：1室

6.トイレ：男女各1カ所

7.多目的トイレ：1カ所

8.木製諸室：5部屋



写真：西側ロッカールーム（大）と室内にあるラグビー日本代表のサイン

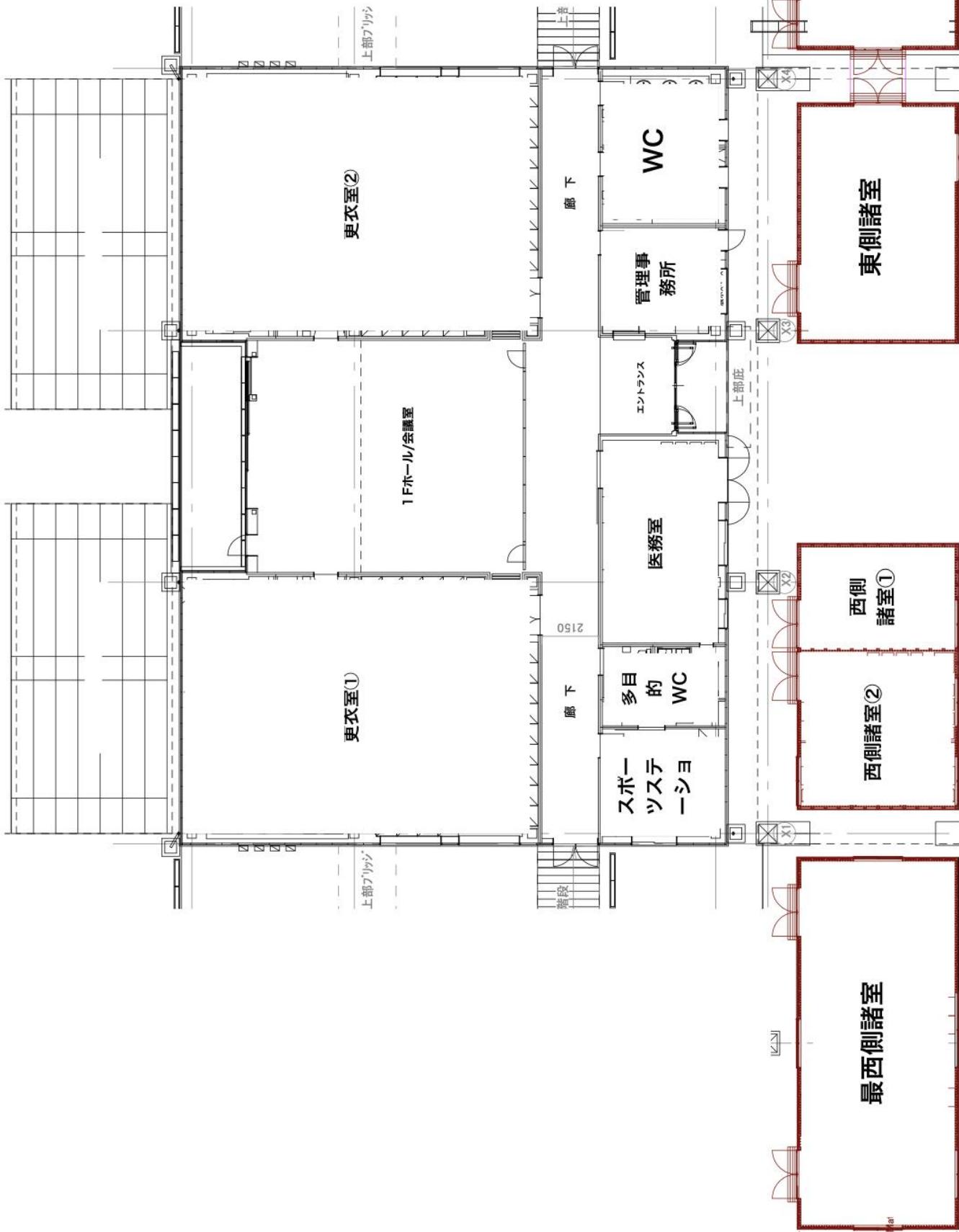


写真：西側ロッカールーム（大）の奥にあるシャワールーム（シャワー8区画）



写真：1階ホール

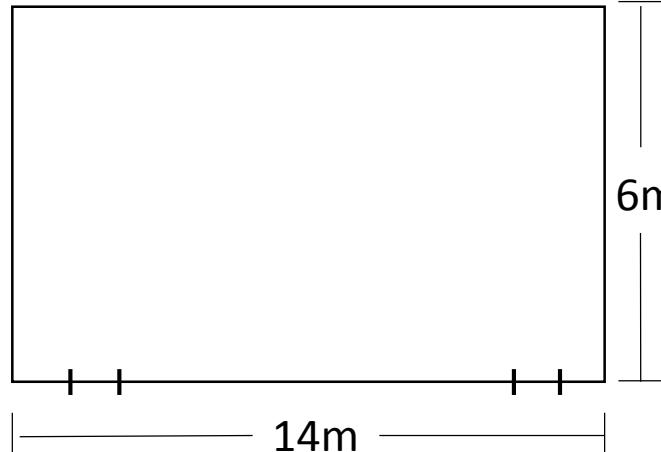
1階平面図



やぐら棟（1階）西

木質諸室（1階：5室）

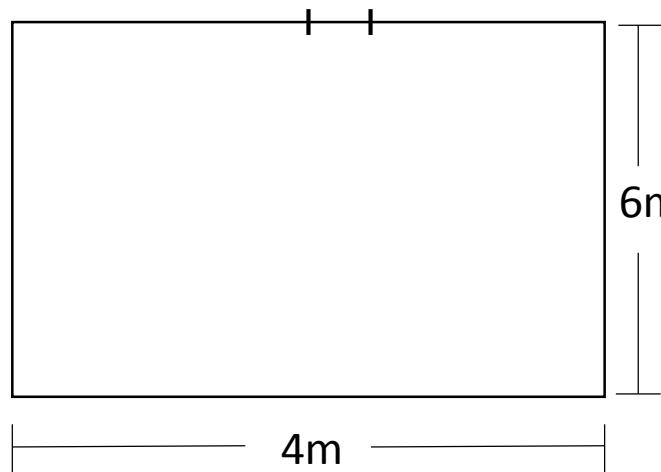
1階最西側諸室



【主な用途】

運営本部室（会議室転用可）

1階西側諸室①



【主な用途】

HIAルーム（医務室共有可）

1階西側諸室②

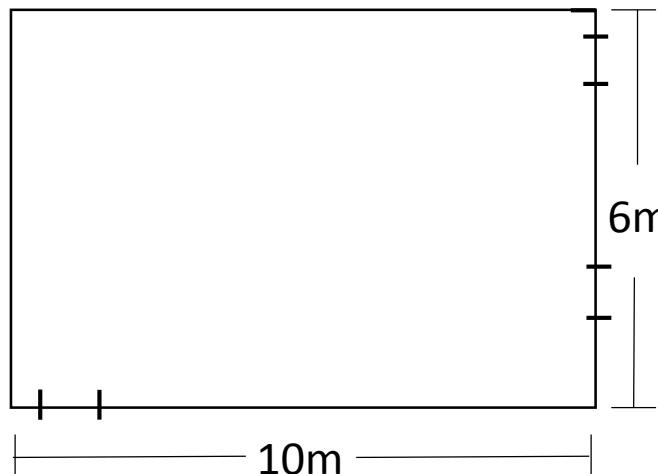


【主な用途】

ドーピングコントロールルーム

やぐら棟（1階）東

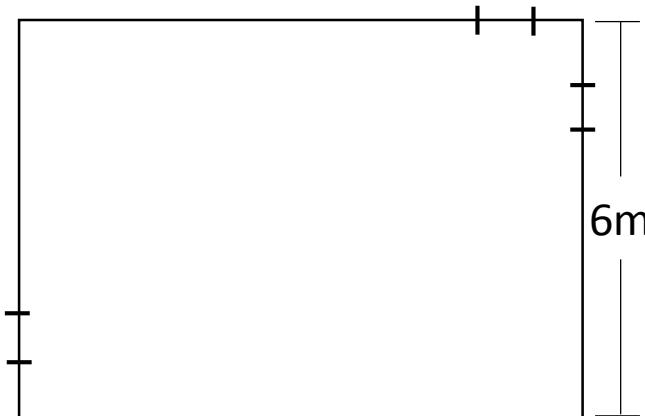
1階最東側諸室



【主な用途】

記者控室（会議室転用可）

1階東側諸室

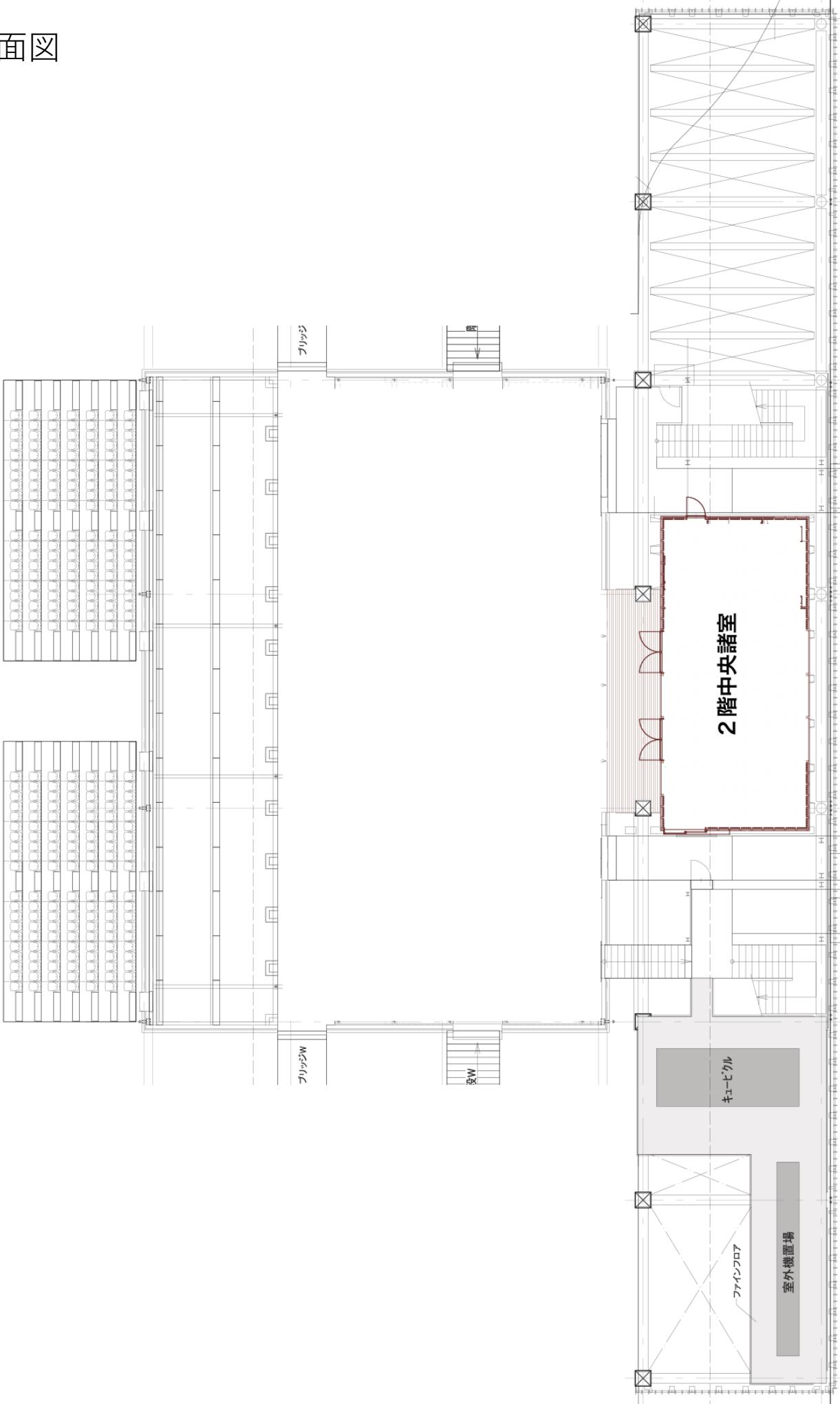


【主な用途】

記者会見場（会議室転用可）

※主な用途には、ラグビーワールドカップ2019で使用した時の使用例を記載しております。使用用途につきましては、お申込時にご相談下さい。

2階平面図



やぐら棟（2階）

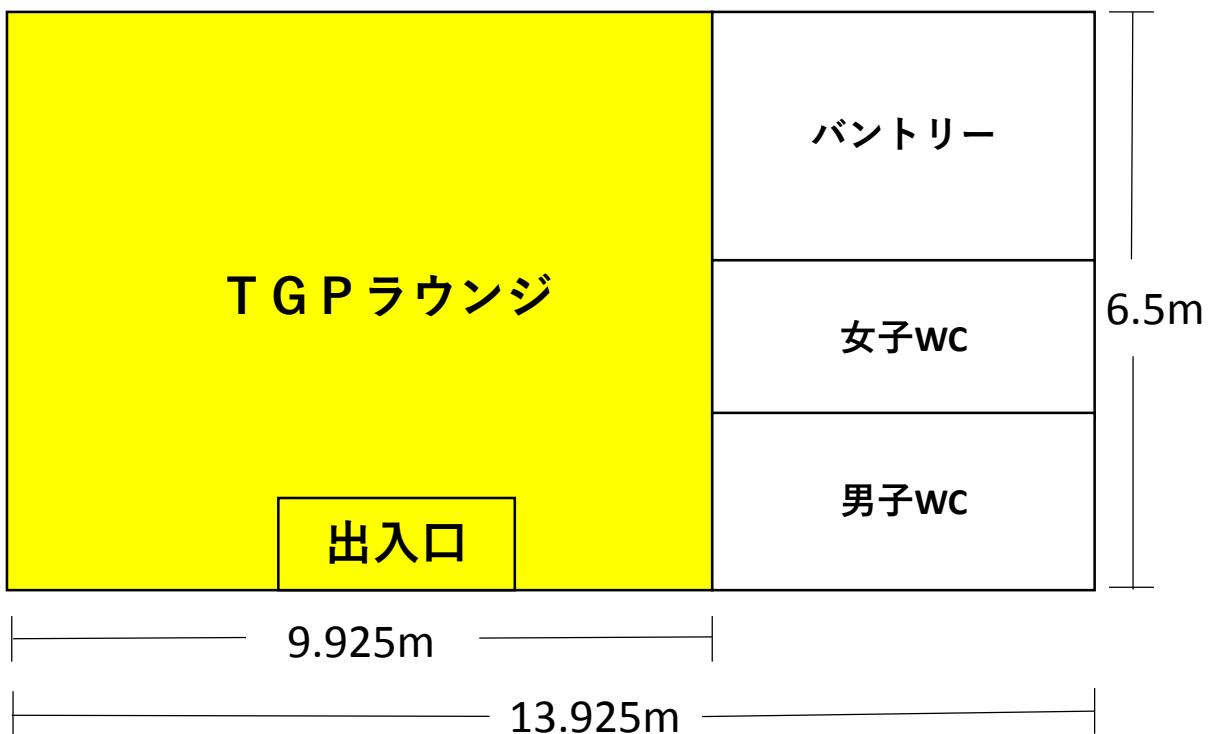
木質諸室（2階：1室）

2 F 中央諸室



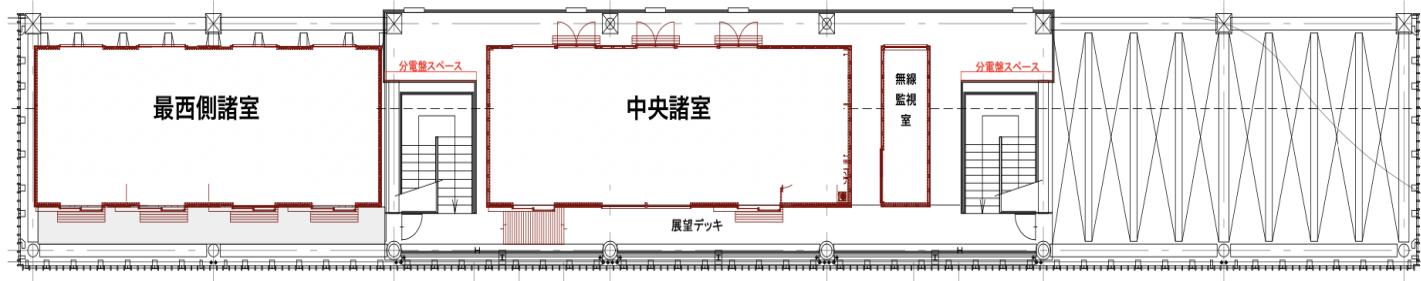
【主な用途】

運営本部室（会議室転用可）



やぐら棟（3階）

3階平面図



木質諸室（3階：2室）

3階中央諸室



【主な用途】

貴賓室となっており、スタジアムツアーの際にご観覧頂ける諸室となっております。W杯では、VIPルームとして使用しました。

3階最西諸室



【主な用途】

TMOルーム（会議室転用可）

黄色部分

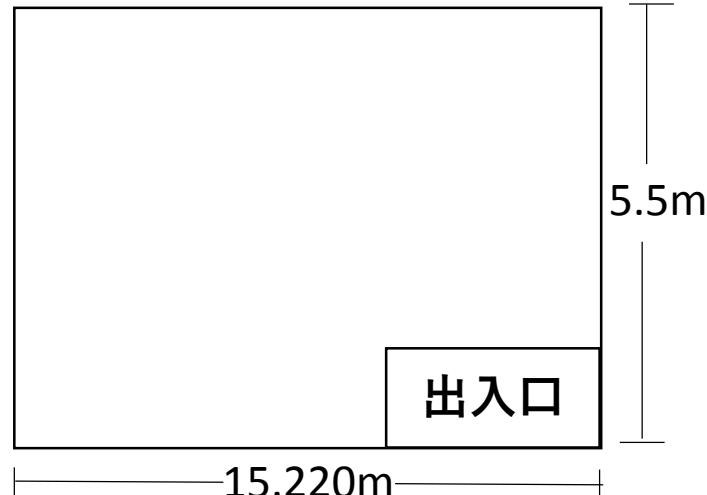
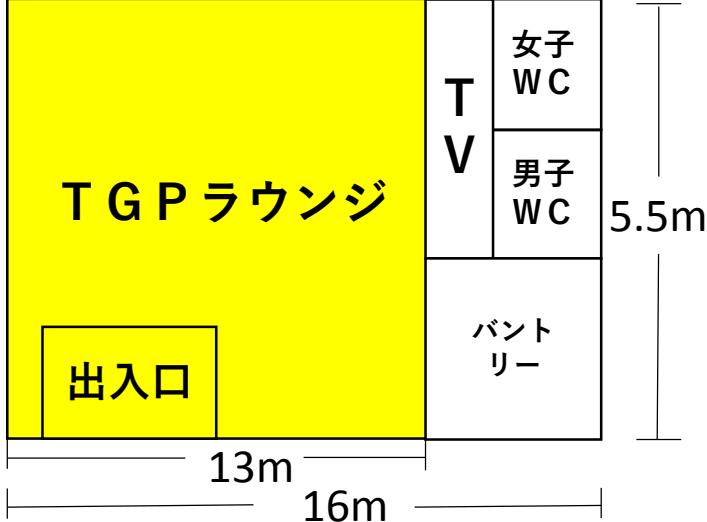
縦：5.5m

横：13m

全体の大きさ

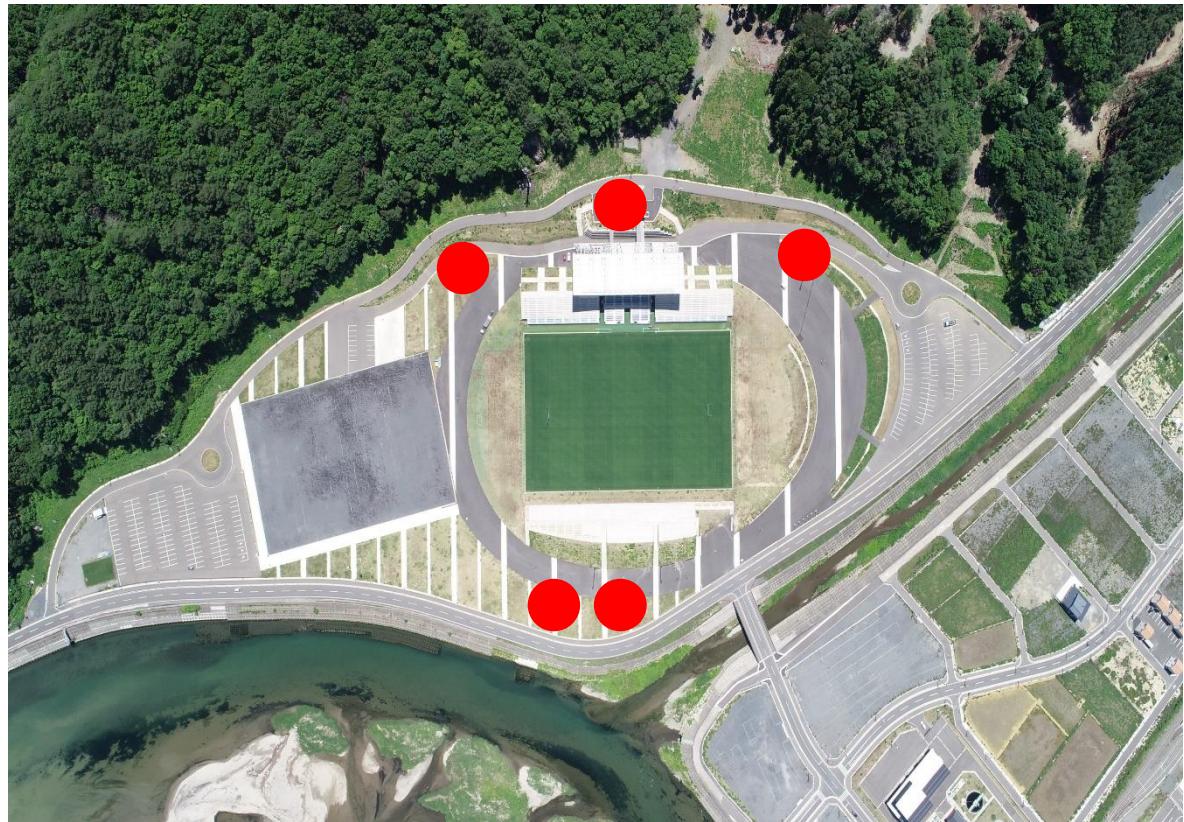
縦：5.5m

横：16m



鵜住居運動公園内

常設トイレ：5棟（男女各5カ所、多目的：3カ所）



釜石鵜住居復興スタジアム料金表（1時間につき）

区分		入場料等を徴収しない場合	入場料等を徴収する場合	
メイングラウンド	全面	一般	12,550円	
		高校生以下	6,270円	
	1/2面	一般	6,270円	
		高校生以下	3,130円	
サブグラウンド	全面	一般	660円	
		高校生以下	330円	
	1/2面	一般	330円	
		高校生以下	160円	
放送機器		310円	1,250円	
電光掲示板		310円	1,250円	
会議室		620円	2,500円	
医務室		620円	2,500円	
ロッカールーム（1室につき）		770円	3,130円	
木質諸室（1室につき）		620円	2,500円	

1. 使用する時間に1時間未満の端数があるときは、1時間とする。
2. 9時（土・日・祝については8時）より前又は21時より後に使用する場合の使用料は、各区分の使用料に使用した時間数を乗じて得た額とする。
3. 「入場料等」とは、入場料、会費又はこれに類する料金をいう。

～釜石鵜住居復興スタジアム周辺のみどころ～

【釜石ラグビー神社（通称：うのスタ神社）】

～ラグビー神社が建設された経緯～

2019年8月、世界最高峰のラグビー大会（ラグビーW杯2019日本大会）の成功および、ラグビーを愛する全ての人々の幸せを祈願する神社として、三菱地所により、東京都千代田区丸の内の丸ビル外構部に建設されました。ラグビーとゆかりの深い、京都「下鴨神社」の内の「雜太社（さわたしゃ）」の御祭神「神塊命（かんたまのみこと）」をお祀りし、ラグビーを通じて生まれる人と人とのつながり、新たな出会いが祈願され、満願成就となつた神社です。そして、W杯終了後にスタジアムに隣接する民間用地に移設・建設する計画が進められました。そして、令和2年9月に無事完成しました。名称は鵜住居小学校の児童たちから公募し、「釜石ラグビー神社（通称：うのスタ神社）」と決定し、祭祀は、地元・鵜住居の「鵜住神社」様より執り行って頂いております。



釜石ラグビー神社
特製おみくじ：100円
ラグビー絵馬：500円

【根浜海岸観光施設】

- ・所在地：〒026-0301
- ・岩手県釜石市鵜住居町第21地割23番地1外
- ・電話：0193-27-5455
- ・車の場合：釜石北ＩＣから約5km、5分ほど
- ・釜石鵜住居復興スタジアムからは車で3分ほど
- ・受付時間：9時～17時
- ・レストハウス開館時間：9時～19時

根浜海岸観光施設には、キャンプ場・天然芝グラウンド・レストハウスがあり、すぐ近くには海もあり、自然を感じながらおとなからこどもまで自然体験を楽しむことができます。レストハウス内には、多目的ルーム・キッチン・温水シャワー室・多目的トイレ・屋内トイレ・洗濯乾燥機が完備されています。

※詳しくは、根浜海岸観光施設公式HPをご覧下さい。



全体写真



天然芝グラウンド



レストハウス



オートキャンプ場

【釜石市民体育館】

釜石市民体育館は、新たな屋内スポーツ施設として令和元年12月に鵜住居町にオープンしました。館内はLED照明で必要な照度を確保した上で外光遮光装置を設置し、各種競技に影響が生じない空調も完備。アリーナ床材にはタラフレックスを採用し従来より足腰への衝撃を和らげるなど、利用者の環境を第一に考えて整備しています。2階は四方から観戦可能で、三方に固定席を設置する他、2階の一部分では軽運動ができるスペースを設置しています。建物はガラス張りで開放感あふれる施設です。

・住所：〒026-0301

釜石市鵜住居町4丁目905番

③休館日：毎週月曜日・年末年始

・開館時間：9時～21時

・アリーナ面積：140395m²

使用可能な競技

- ・バレー・バスケット・バトミントン・ビーチボール・卓球
- ・ソフトテニス・バウンドテニス・柔道など。

※お申込方法など詳細につきましては、釜石市ホームページをご覧ください。



【うのすまい・トモス】

・うのすまい・トモスは、「東日本大震災の記憶や教訓を将来に伝えるとともに、生きることの大切さや素晴らしさを感じられ、憩い親しめる場」として、複数の公共施設を一体的に配置し、地域活動や観光交流を促進する鶴住居駅前エリアです。

トモスの意味

・復興の明かりを「灯す」「共に」「友」を意味する言葉の響きと、鉄のまち釜石の炉をイメージした言葉で表現しています。

開館時間：9時～18時

・休館日：毎週水曜日・年末年始

いのちをつなぐ未来館には、東日本大震災の出来事、教訓、釜石での防災学習への取り組みを紹介する展示スペースや東日本大震災に関する書籍や資料、寄贈された写真などを収蔵し、閲覧できる図書スペースがあります。



※詳しくは、うのすまい・トモス公式サイトをご覧下さい。



釜石市スポーツ合宿推進事業補助金制度のご案内

補助対象団体

釜石市外に所在する中学校以上の学校、企業やクラブチームの
スポーツ活動を行う団体or 釜石市外の競技者及び指導者で構
成する10人以上の団体。

補助対象事業

次のすべてを満たす場合が補助の対象となります。

- (1) 釜石市内の体育施設を使用して行う合宿。
- (2) 釜石市内の旅館、ホテル、簡易宿所に宿泊。
- (3) 連続して2日以上宿泊し、延べ宿泊者数が20人以上。

※次のいずれかの該当する場合は対象となりません。

- (1) 営利目的、政治的または宗教的な活動。
- (2) 各種大会、会議等への参加。
- (3) 公序良俗に反する。
- (4) 釜石市または釜石市の関係機関から他の補助金の交付を受
けて行う合宿。

補助金の内容

(1) 交通費補助・・・上限25万円以内

(2) 宿泊費補助・・・上限10万円以内

※詳細につきましては、釜石市ホームページをご覧下さい。

釜石シーウェイブス R F C

釜石シーウェイブス R F C は、1959年に富士製鐵釜石製鐵所の実業団チームである「富士鉄釜石ラグビー部」として結成され、1970年の社名変更に伴い、チーム名も「新日鐵釜石ラグビー部」に変更。ラグビー部は、1978年から1984年にかけて日本選手権7連覇という偉業を達成し、その強さから「北の鉄人」と呼ばれ、日本ラグビー史に一時代を築いたチームです。黄金時代を築いたメンバーの中には、現釜石シーウェイブス R F C 総監督で、スクラムハーフ(SH)として、日本選手権2~7連覇に貢献した坂下功正氏が在籍していました。また、現在、釜石シーウェイブス R F C のGMで、ラグビーW杯に3大会出場した桜庭吉彦氏も在籍していました。現在は、ジャパンラグビートップリーグ下部のトップチャレンジリーグに所属し、トップリーグ昇格を目指し、活動しています。愛称である「シーウェイブス」は、「力強く押し寄せる海の波」を意味しています。



1st ジャージ



2nd ジャージ



パシフィックネーションズカップ日本ラウンド 日本対フィジー

【ワールドラグビーパシフィックネーションズカップについて】

- ・環太平洋の世界ランキング第2グループ（ティア2）を強化し、トップ国との格差を縮める目的で設立された大会。
※ティア2（フィジー・サモア・トンガ・米国・カナダ・ジョージア・ルーマニア・ナミビア・ウルグアイ・日本）

◆試合結果◆

2019年7月27日（土）に釜石鵜住居スタジアムにおいて、初めて日本代表対フィジー代表の国際試合が行われ、県内外からスタジアムに訪れた約13,000人の観客は、両チームの闘志溢れるプレーを目の当たりにし、大いに盛り上がった。

（1）試合概要

試合日時：7月27日（土） 14時50分キックオフ

試合結果：日本代表 34 対 21 フィジー代表

入場者数：13,135人

（2）当日のスタジアムの様子



ラグビーワールドカップ2019日本大会 フィジー対ウルグアイ

◆試合結果◆

日時：2019年9月25日（水）14時15分 キックオフ

試合結果：フィジー代表 27 対 30 ウルグアイ代表

入場者数：14,025人

世界ランク10位のフィジーと世界ランク19位のウルグアイが対戦。前評判では、フィジー代表が優勢と言われていたが、試合序盤から両チームが闘志溢れるプレーを見せ、譲らない展開に。試合終盤にウルグアイ代表のバチエシ選手が、この日6本目となるキックで値千金のゴールを決めてリードを広げ、終了間際にフィジー代表にトライを許すも、30対27で逃げ切り、歴史的な勝利となり、歴史的な試合を目の当たりにした観客達も大いに盛り上がった。

◆当日のスタジアムの様子◆

当日は、試合前に様々なイベントが行われ、スタジアムではこども達による復興支援への感謝のビッグフラグの掲出と、釜石市内の全小中学校の児童・生徒（14校2,228人）による「ありがとうの手紙」の合唱の披露などにより、国内外から来場した約14,000人の観客と各種メディアを通じた発信により、復興支援への感謝と復興に力強く取り組む姿を国内外に発信した。また、試合直前にはブルーインパルスの展示飛行や選手入場後に東日本大震災で亡くなられた方々への黙祷を選手・観客全員で行った。



